

歴史(江戸時代③・身分と暮らし編)

太閤検地や刀狩などによって定まった身分は、江戸時代になってさらに強まり、身分は①_____と②_____・町人に大きく分かれた。②_____には、土地を持つ③_____と土地を持たず小作を行う④_____との区別があり、有力な③_____は、村の自治をになうとともに⑤_____を徴収して領主におさめた。また、しきたりや寄合で定められたおきてを破るものには、葬式など以外には協力しない⑥_____という罰をあたえ、犯罪の防止や⑤_____の納入に連帯責任を負わせる⑦_____という制度もつくれた。

②_____・町人とは別に、⑧_____・⑨_____と呼ばれ、社会的に厳しく差別された身分の人々もいた。このような身分政策は、武士に対する不満をそらすために取り入れられた。

